

第18期第3回常任理事会議事録

日時 昭和49年10月7日(月) 14.00~17.30

場所 気象庁観測部会議室

出席者 磯野, 小平, 朝倉, 大井, 奥田, 神山, 河村,
北川, 高橋, 丸山, 野本, 各常任理事 川村理事

議題

1. 外国会員の会費精求額について

290ドルで換算し, 通信費その他の実費を加算する.

B 会員 31ドル

団体会員 38ドル

非会員 41ドル

2. 理事よりの要望事項に対する処置について

(1) 学会運営の長期計画の作成

特に長期計画の作成はしないが, 当回事務局体制の強化を図る.

(2) 事務局を研究所へ移転

研究所は, 将来筑波へ移転が予定され不便となるので現状を可と考えるが, 事務を学会センターに委託なども含め今後とも検討する.

(3) 予稿集の廃止について

現状では現行を可とする.

(4) 大会開催をなるべく大学が責任をもつことについて

地方大会を主な会場にすることは望ましいことなので, それぞれの地区で実現されるよう期待する.

(5) 会計への布石について

会計委員会を設けた.

(6) 各分野の予算使用状況監査

会計理事が各委員会理事と話し合い, 資料を整理して常任理事会に提出し検討する.

3. 全国理事会の議題について

(1) 学会の財政について

特に51年度から会費値上げが必要かの検討

(2) 気象研究ノート編集委員の委嘱

(3) 懇談事項 ユネスコの科学研究者の地位に関する勧告案について

4. 理事の理事会出席旅費について

将来の問題として常任理事会で検討する.

承認事項 木戸和男以下の入会を承認

昭和49年度日本気象学会奨励金受領者

本年度の学会奨励金は, 次の3件に決定し, 福岡市の電気ビルにおいて開催の秋季大会第2日(11月7日)に贈呈式が行なわれた.

記

氏名	所属	研究題目
矢野 兼三	福岡管区気象台	予報へのレーダー利用について
内山 文夫	長野地方気象台	季節風による長野県の大雪について
櫃間 道夫	新潟地方気象台	北陸に集中豪雨をもたらす帯状エコー